

(様式3)

事業所名 ほっとハウスしまうちの家

## 目標達成計画

作成日: 令和 6年 3月 6日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	職員の介護経験や資格によって介護の専門性の理解、知識、技術に差がある。無資格、初任者研修、実務者研修、介護福祉士と様々な状況に合わせた指導や、教育の対応に課題がある。	職員個々の状況に応じた資格取得を目指す。	無資格者に対しては認知症介護基礎研修の受講。介護の専門性を高めるための初任者研修、実務者研修の取得をする際には、受講がしやすいシフト作成。	12ヶ月
2	43	ご利用者様のADL(日常生活動作)や健康状態を把握し、個々に合わせた生活支援を意識した介護を行っていくのが一つの課題としてある。	ご利用者様のできることを取り入れる。	職員が全て行うのではなく、ご利用者様の健康状態やADL(日常生活動作)に合わせた支援を、積極的に行う。また、役割を持てるような生活支援を行う。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。  
複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成してください。